

Wednesday

11/23

黄色いもので歓迎！

「或る列車」 通過記念イベント

JR九州が運行するスイーツトレイン「或る列車」が、特別企画として佐賀コース（佐世保―佐賀―唐津）を運行しました。

「或る列車」は100年以上前に作られた幻の豪華列車の通称であり、デザインを受け継いだ2両編成の観光列車で、車内では九州の食材を使った高級スイーツが提供されます。

県内初となる運行を記念して、沿線自治体ではおもてなしイベントが行われ、多久市では「黄色い幸せプロジェクト」として、黄色いものを身につけた約1,200人が参加し、手を振るなどして列車を歓迎しました。



◀多久駅を通過する「或る列車」



▲多久駅前は大勢の人が「或る列車」を歓迎しました



◀多久の山道を疾走する選手たち

Sunday

11/27

県内初・トレイルランニングを開催！

第1回『孔子の里』トレイルラン in たく

山野を駆け巡る人気のスポーツ「トレイルランニング」大会が県内で初めて多久市で開催されました。多久聖廟から鬼の鼻山を往復する約18キロのルートが65人が走り抜けました。

県内外からの参加者も多く、実行委員長の諸江一男もろえ かずおさんは「スポーツで多久のまちおこしをしたいとの思いから、昨年はトレイルランの練習会を開催し、今年の大会有りつけました。トレイルランを多久に訪れるきっかけにしたいです」と話されました。



▶県外からも多くの参加者が集いました

音楽がつなぐ、新たな出会い

第5回九州まちづくり音楽祭

Saturday

12/3

国土交通省九州地方整備局に勤務する音楽愛好家たちによって始まったこの音楽祭。音楽による交流を通じて、まちを知り、人と触れ合い、まちづくりのきっかけにと、開催されています。

今年、興梠こうらき実行委員長の地元、多久市まちづくり交流センターあいぱれっとでの開催となりました。

「大人の学園祭」と銘打ち、行われた音楽祭には多くのみなさんが集まり、ロックや民謡、ポップなどジャンル問わず、11時間続くタフで賑やかな音楽祭となりました。



◀心のこもった歌声



▶爽やかな演奏に会場が一体となりました